

モリト株式会社

2023年11月期 通期決算概要

東証プライム 証券コード 9837

2024年1月

あたりまえに、新しさ。 MORITO

- 1 会社概要
- 2 第8次中期経営計画のアップデート
- 3 2023年11月期 業績
- 4 2023年11月期 事業の概況
- 5 2024年11月期通期業績予想
- 6 事業トピックス
- 7 株主還元策

1

会社概要

モリトグループの価値観

創業理念

積極・堅実

経営理念

パーツでつなく、あなたとつながる、未来につなげる

経営ビジョン

存在価値を創造する、
あたらしい「モリトグループ」の実現

会社概要

● 1908年創業

- ・大阪にてハトメ・ホックの仲買商として開業
- ・その後、マジックテープ®など服飾の付属品、自動車内装部品等の販売を中心に拡大

● 製造機能も併せ持つメーカー的機能を持つ商社

- ・企画・開発から製造に加え、卸・流通までを一貫して手掛ける専門商社
- ・世界に19拠点展開

● 3つの事業を展開

- ・アパレル関連、プロダクト関連、輸送関連が事業の柱
- ・自社生産30%、調達70%ほどの構成



ハトメ

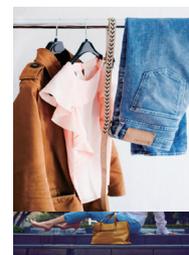


ホック



マジックテープ®

※ハトメ：靴・衣類などに紐を通す穴に取り付ける環状の金具



事業別詳細

アパレル関連事業

<取扱い商品例>



ホック マジックテープ® ボタン



テープ ハトメ・靴紐 自社ブランド

<活用例>

カジュアルウェア・シューズ
 スポーツウェア・シューズ
 作業服・シューズ
 メディカルウェア、ベビーウェア
 フォーマルウェア・シューズ、バッグ

プロダクト関連事業

<取扱い商品例>



マジックテープ® グリスフィルター インソール



ストラップ スケートボード・
 スノーボード・
 サーフィン 自社ブランド

<活用例>

インソール・シューケア商品
 カメラ・PCケース等映像機器関連商品、
 サポーター、安全関連商品、教具・文具
 スケートボード・サーフィン等
 アクティブスポーツ関連商品
 グリスフィルターレンタルサービス

輸送関連事業

<取扱い商品例>



ホック マジックテープ® ネット



エンブレム トランク
 フロアボード ドアアーム
 レスト

<活用例>

自動車内装部品
 鉄道・新幹線内装部品
 航空機内装部品

モリトの強み

● 流行に左右されない、生活必需品向けのビジネスが多数

日常生活に欠かせないもののパーツを扱っているため、流行・景気に左右されにくく、継続的に販売ができるビジネスが多数。

● ポートフォリオが分散して安定した業績

アパレル・プロダクト・輸送関連の3つの事業を柱に、ワールドワイドに事業を展開。オイルショックやリーマンショック、新型コロナウイルス感染拡大の影響などがあっても、赤字にならない安定した業績を維持。

● ニッチ分野をターゲットに、多彩なアイテムで高シェアをマーク

各業界分野でシェア率の高い商品多数。
金属ホックは日本で1位、世界でも1位、2位を争う。

● 製造・調達・販売をグローバルに展開

自社拠点以外にも、協力工場や代理店が世界各地にあり、あらゆる顧客ニーズにできるだけ近くで対応。

2

第8次中期経営計画のアップデート

中長期方針 モリトが目指す姿

小さなパーツで世界を変え続ける

グローバルニッチトップ企業

第8次中期経営計画アップデートサマリー

現状分析

< 取り組みの成果 >

- ① 事業再編による利益率の向上
- ② コロナ禍における機会創出・経費見直し
- ③ PBR改善(右グラフ参照)

➔ 筋肉質な利益体制の構築
当初の財務数値目標を早期達成の見込み



< 課題 >

- ① 各事業の具体的な成長戦略
- ② 今後の成長に向けた投資
- ③ PBR1倍以上を目指した経営
→株主資本コストを上回る
ROEの実現

アクションプラン

● 次期中計を成長ステージとするための投資の実行

設備投資・新ビジネス・B to C強化 / IT基盤の構築・人的資本への投資 / メーカー機能拡大

● Rideeco®の推進

● 既存事業の成長のための戦略

地産地消・アジア戦略 / グローバルシェア拡大

第8次中期経営計画アップデート

- 財務数値目標の上方修正
- 2026年度までを未来の成長の加速に向けた準備期間と設定

財務数値目標

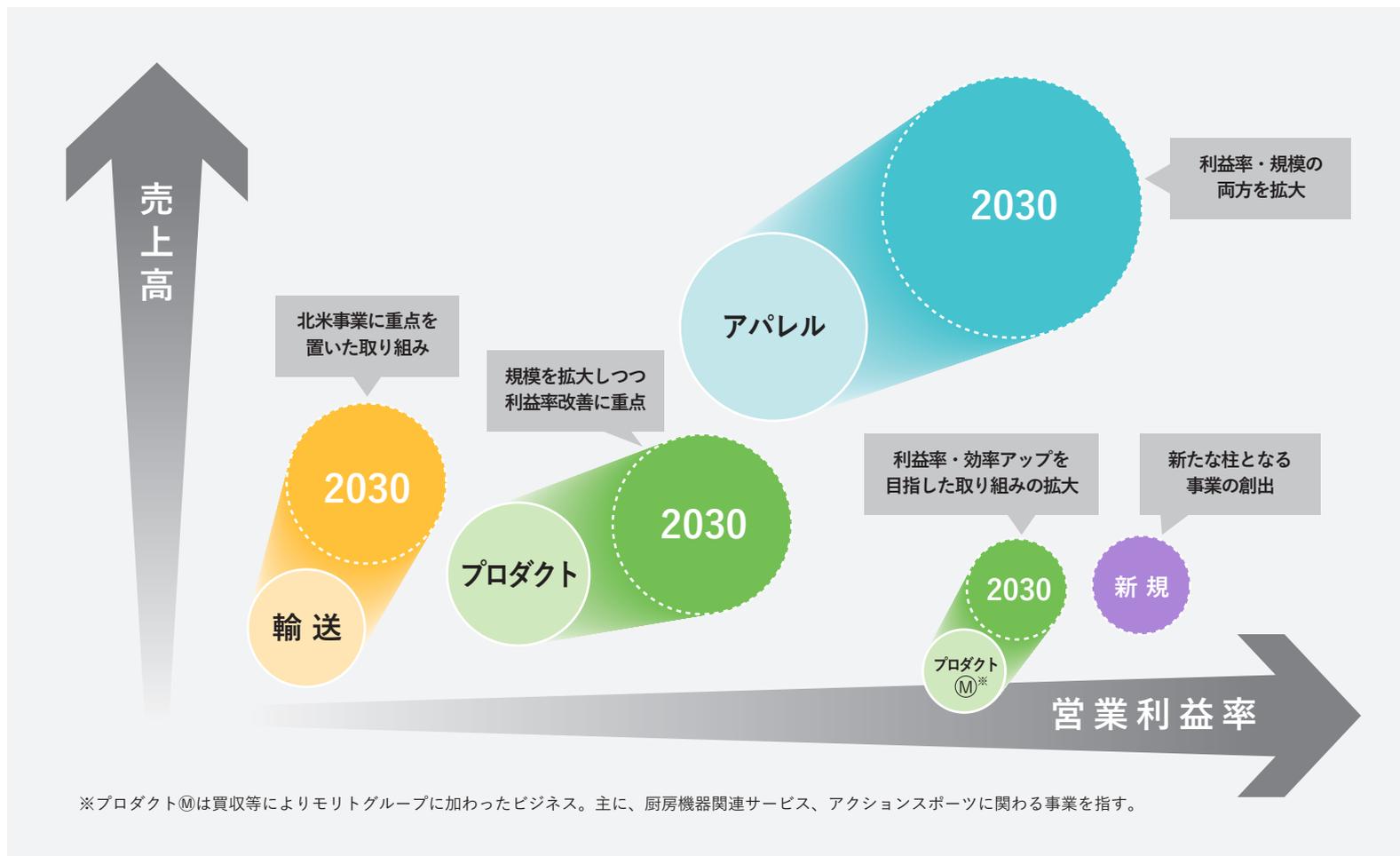
【2026年度】

売上高:600億円 営業利益:30億円 ROE:6.5%

【2030年度ありたい姿】

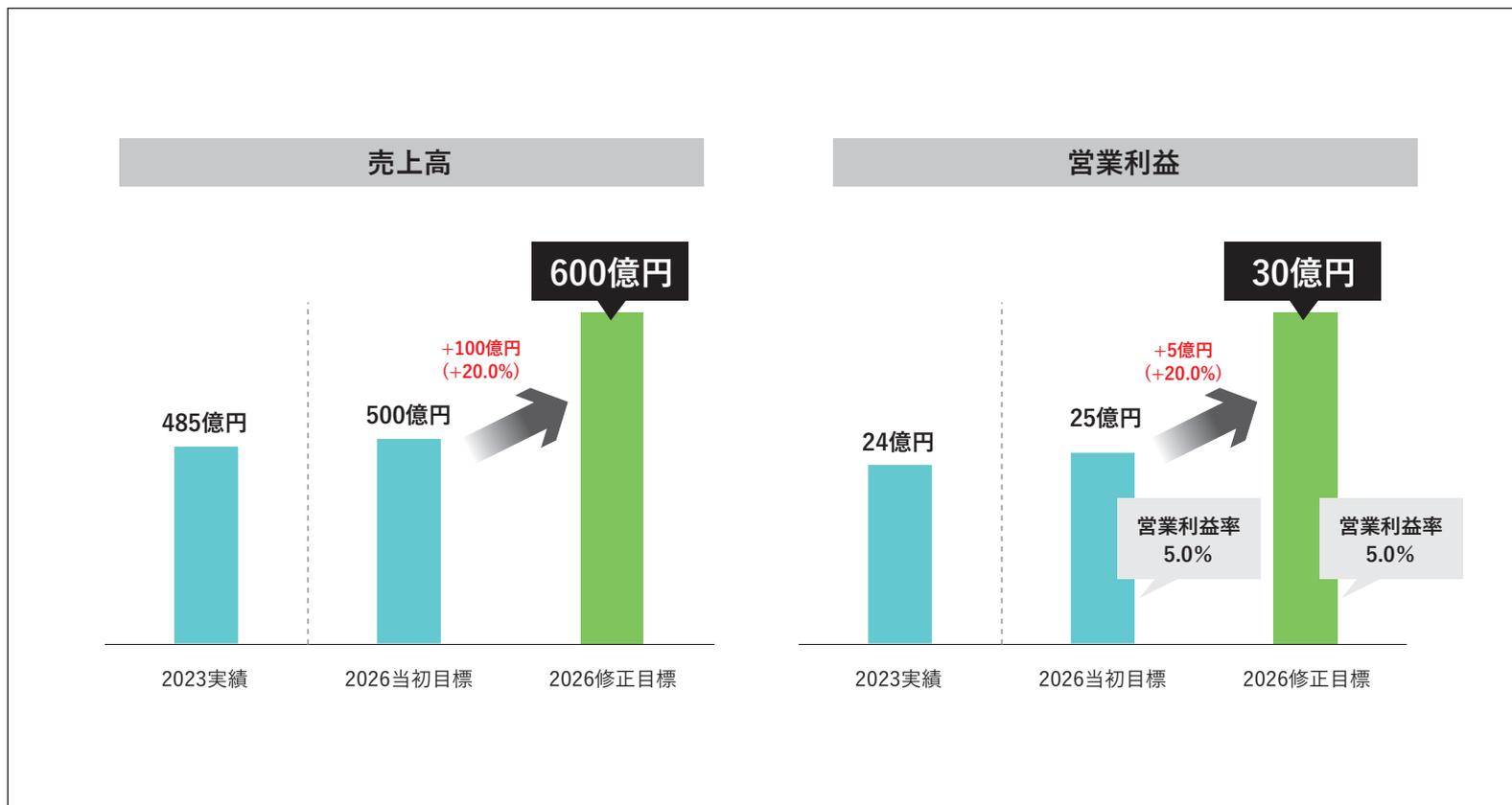
売上高:800億円 営業利益:50億円 ROE:8.0%

事業別 現状と2030年にありたい姿

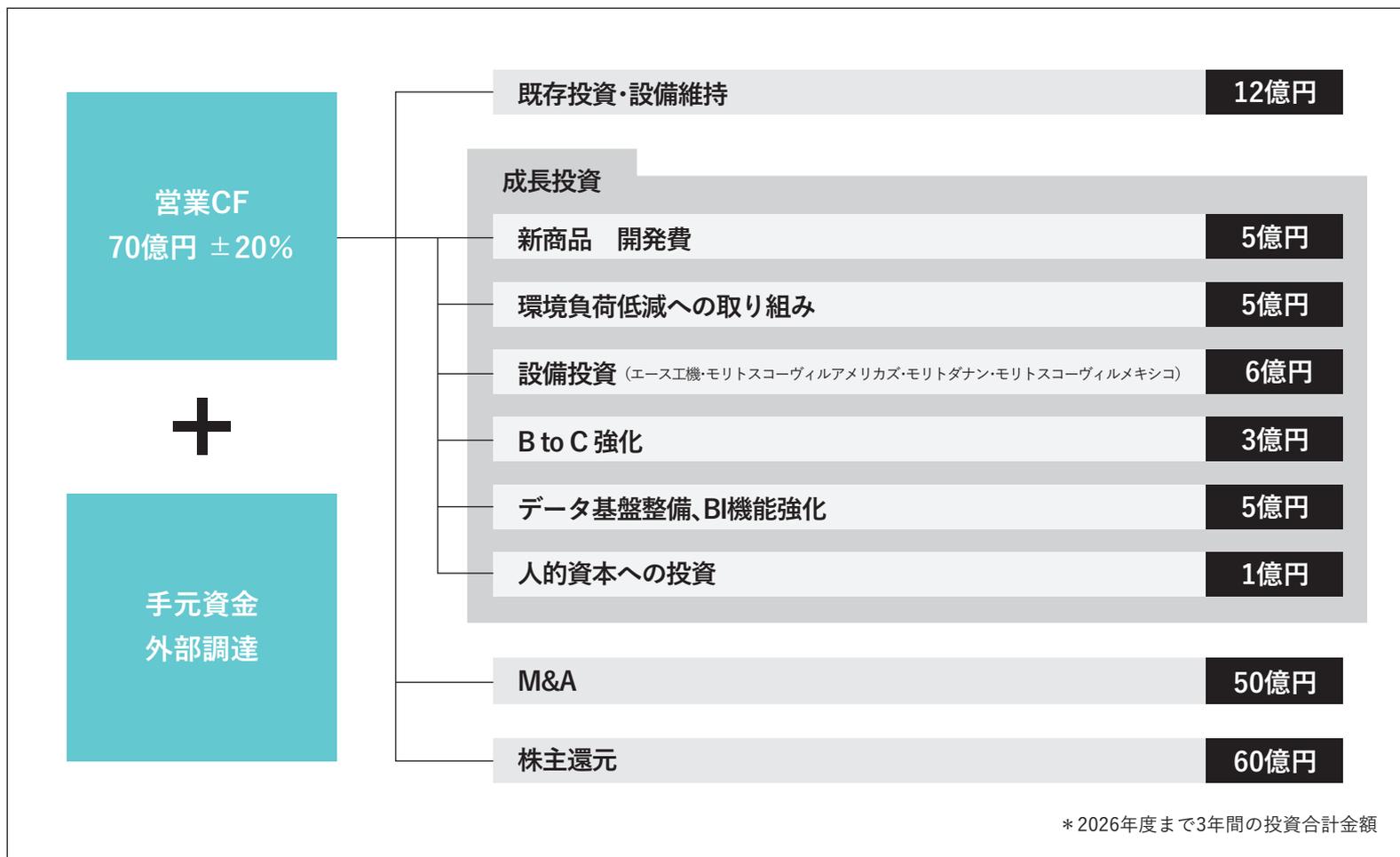


財務数値目標のアップデート

直近で改善した利益率の水準を維持することに加え、トップラインを伸ばすことに注力。更なる規模拡大を目指す。



投資戦略

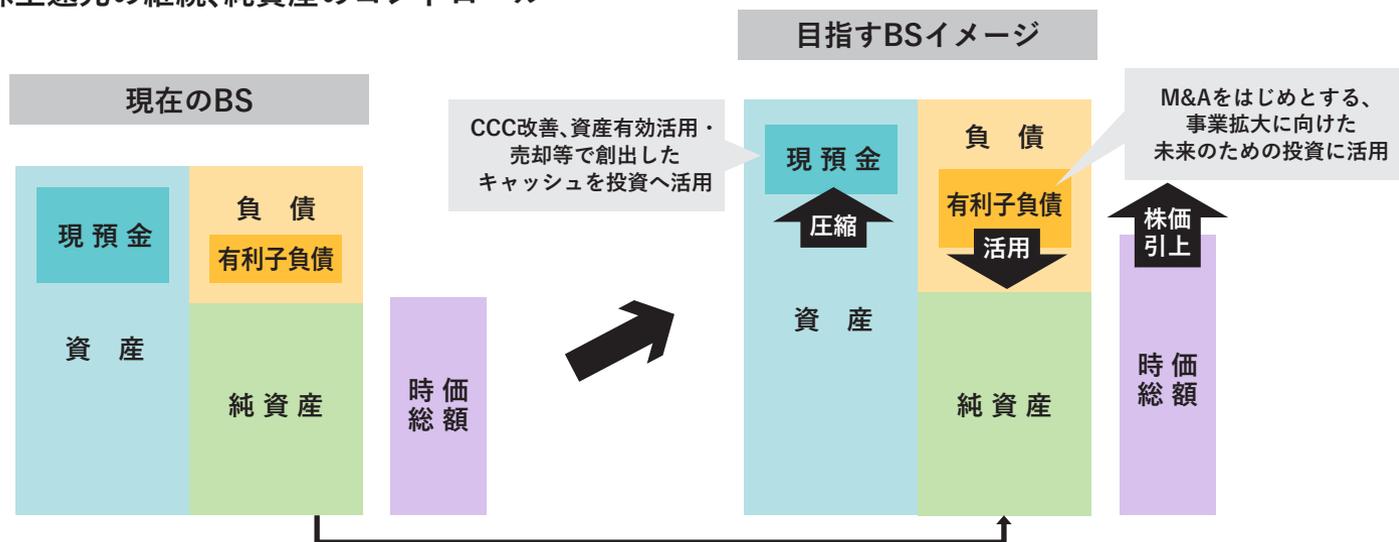


投資戦略 【M&A】



コーポレート戦略 【資本政策・財務戦略：全体像】

- 積極的な成長投資による事業拡大(投資戦略の詳細はP12参照)
- 有利子負債活用による資本構成の適正化
- 株主還元の継続、純資産のコントロール



株主還元継続、純資産のコントロール

利益配分に関する基本方針: 配当性向50%・DOE4.0%基準
機動的な自己株式取得・適切な消却を実施

▶ 「第8次中期経営計画のアップデートについて」の詳細はこちら

3

2023年11月期 業績

2023年11月期 ハイライト

- 欧米・中国の消費の減速・需要の停滞が継続、さらに暖冬によるインパクトあり
- 機能性に優れた付属品・製品が好調
- モリトジャパン会社分割により、不採算事業の整理など、利益率改善の意識改革が継続
- 2023年11月期累計の売上高・営業利益・経常利益が、過去最高

2023年11月期 通期業績サマリー

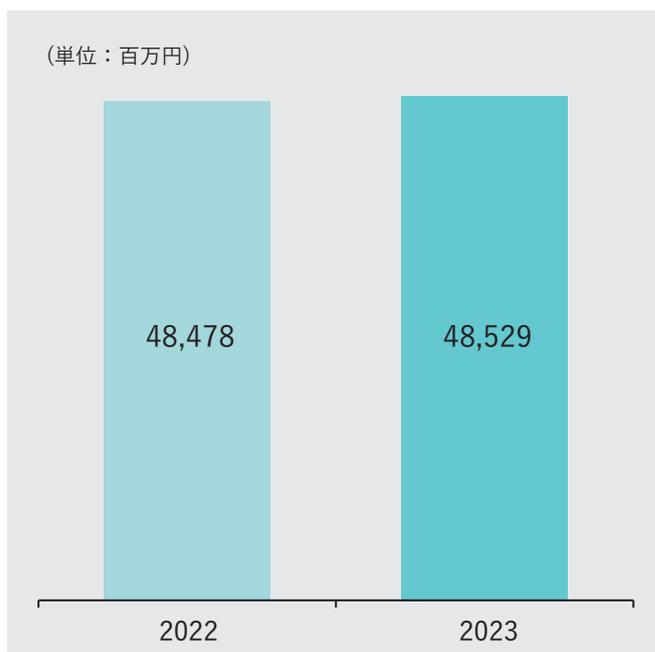
(単位：百万円)

	前期	当期	増減	前期比
売上高	48,478	48,529	+51	+0.1%
売上総利益	12,487	13,265	+778	+6.2%
売上総利益率	25.8%	27.3%		
経費	10,370	10,801	+431	+4.2%
経費率	21.4%	22.3%		
営業利益	2,116	2,464	+348	+16.4%
営業利益率	4.4%	5.1%		
経常利益	2,342	2,771	+429	+18.3%
経常利益率	4.8%	5.7%		
当期純利益	1,674	2,217	+543	+32.5%
当期純利益率	3.5%	4.6%		

2023年11月期 売上高

売上高:48,529百万円 前年同期比:+51百万円(+0.1%)

欧米・中国の消費の減速・需要の停滞が継続したことに加え、不採算事業の見直し・暖冬の影響で4Qの国内アパレル・プロダクト関連事業が伸びず。



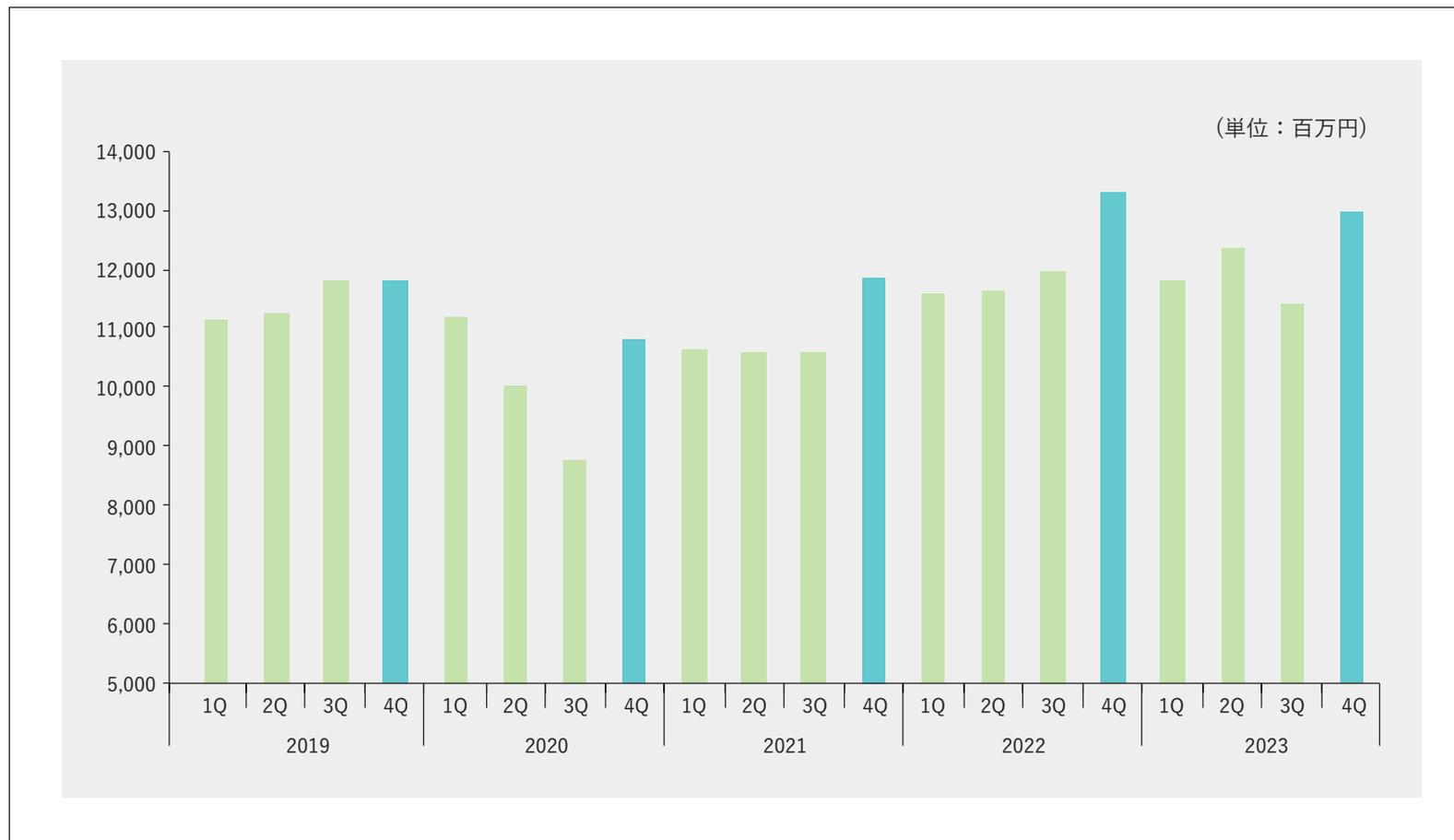
日本 34,070百万円
前年同期比 +554百万円(+1.7%)

アジア 7,705百万円
前年同期比 -635百万円(-7.6%)

欧米 6,753百万円
前年同期比 +132百万円(+2.0%)

2023年11月期 四半期別売上高の推移

4Qでは、暖冬の影響が強く、国内アパレル・プロダクト関連事業が当社予想よりも停滞。

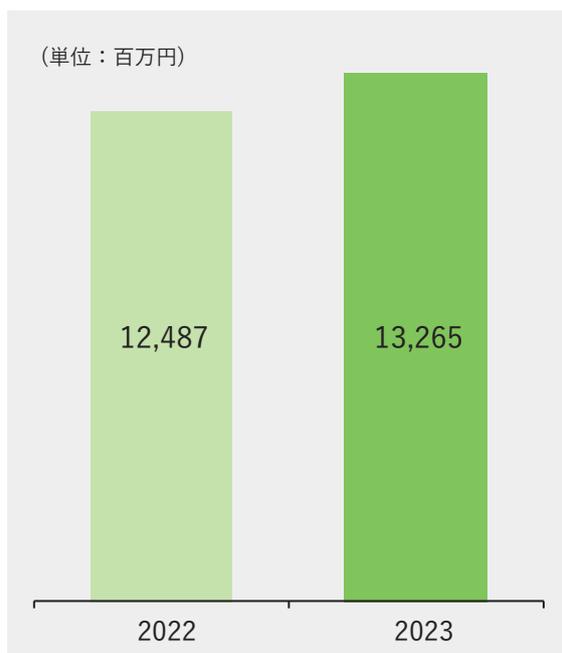


2023年11月期 売上総利益

売上総利益:13,265百万円 前年同期比:+778百万円(+6.2%)

売上高の増加・売上総利益率の改善により増加。

昨年モリトジャパンの会社分割以降、各社経営層・営業担当の利益率への意識の高まりが継続。

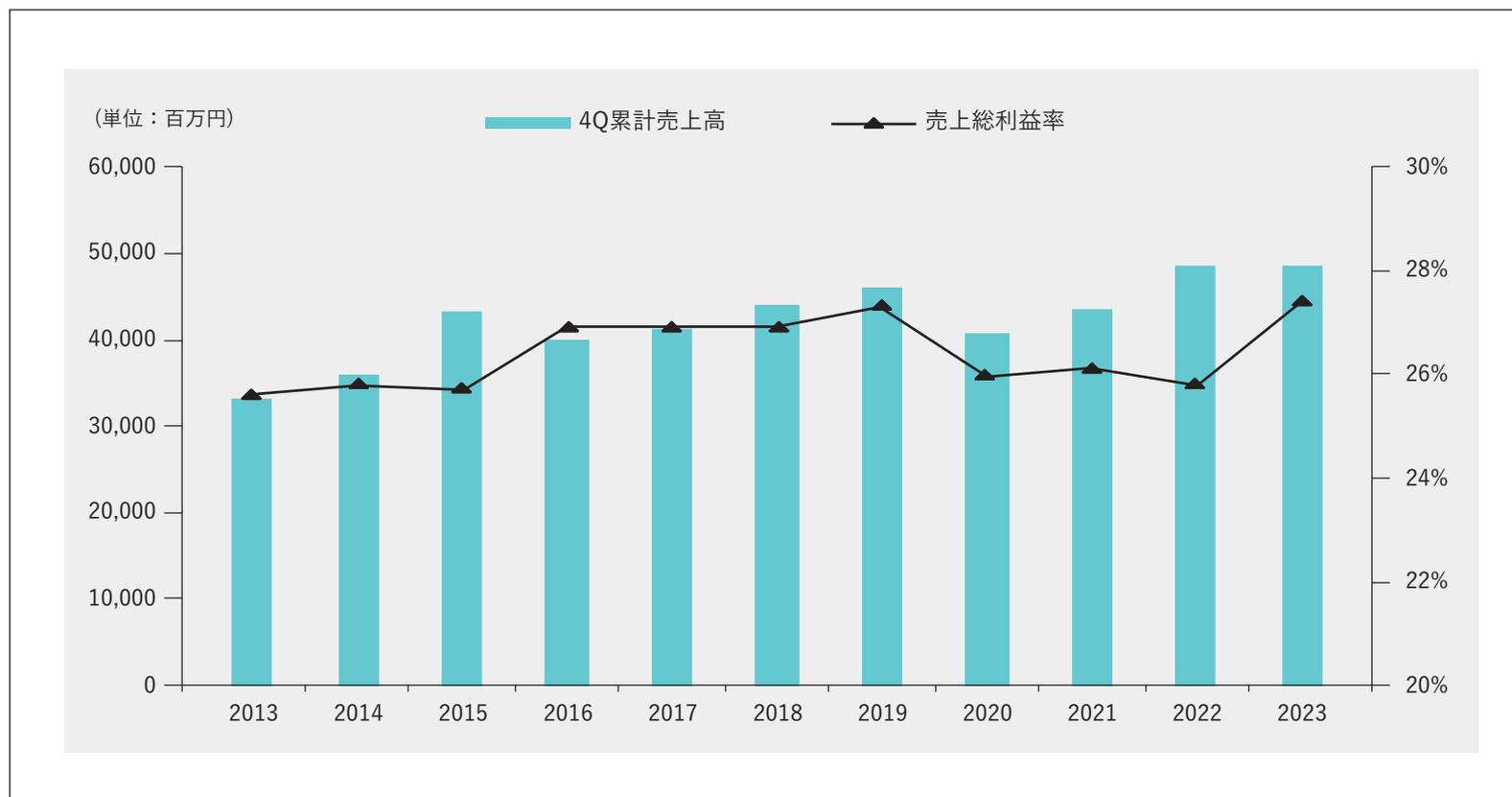


(単位：百万円)

	前 期	当 期	増 減	前期比
売上高	48,478	48,529	+51	+0.1%
売上総利益	12,487	13,265	+778	+6.2%
売上総利益率	25.8%	27.3%		
経 費	10,370	10,801	+431	+4.2%
営業利益	2,116	2,464	+348	+16.4%
経常利益	2,342	2,771	+429	+18.3%
当期純利益	1,674	2,217	+543	+32.5%

2023年11月期 売上高・売上総利益率の推移

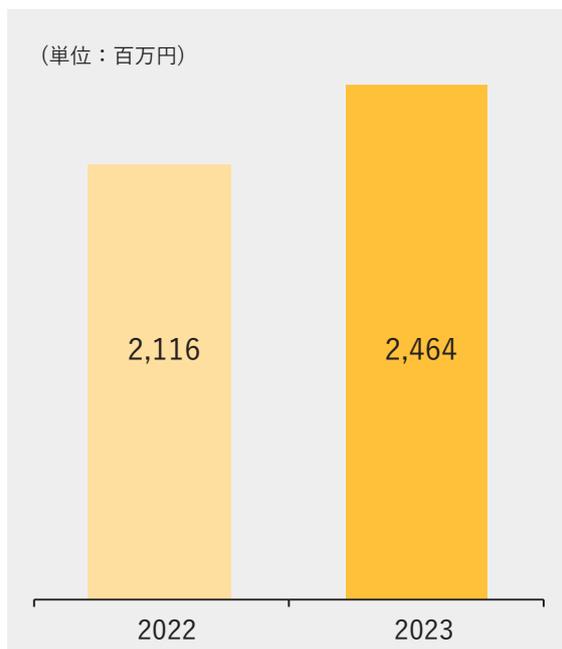
不採算事業の見直し・販売条件の見直し等、利益率への意識改革、高付加価値商品の販売増加により、売上総利益率が改善。



2023年11月期 営業利益

営業利益:2,464百万円 前年同期比:+348百万円(+16.4%)

売上総利益の増加により増加。人件費の増加は見られたものの、物流の効率化は継続。



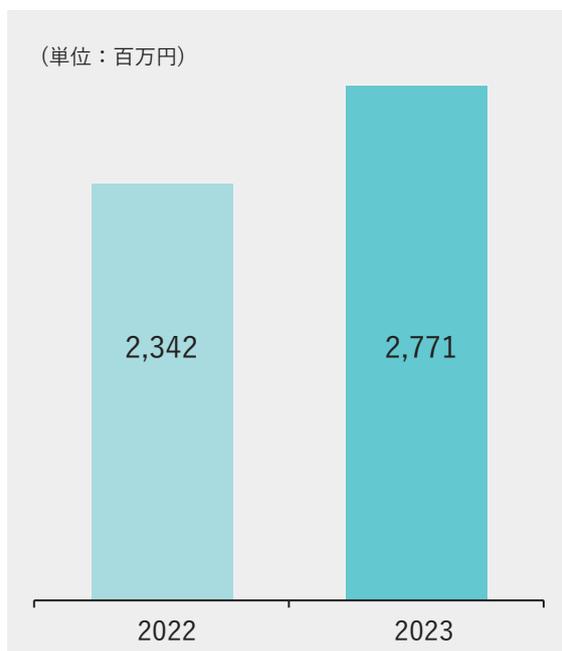
(単位：百万円)

	前 期	当 期	増 減	前期比
売上高	48,478	48,529	+51	+0.1%
売上総利益	12,487	13,265	+778	+6.2%
売上総利益率	25.8%	27.3%		
経 費	10,370	10,801	+431	+4.2%
経費率	21.4%	22.3%		
営業利益	2,116	2,464	+348	+16.4%
営業利益率	4.4%	5.1%		
経常利益	2,342	2,771	+429	+18.3%
当期純利益	1,674	2,217	+543	+32.5%

2023年11月期 経常利益

経常利益:2,771百万円 前年同期比:+429百万円(+18.3%)

営業利益の増加により増加。



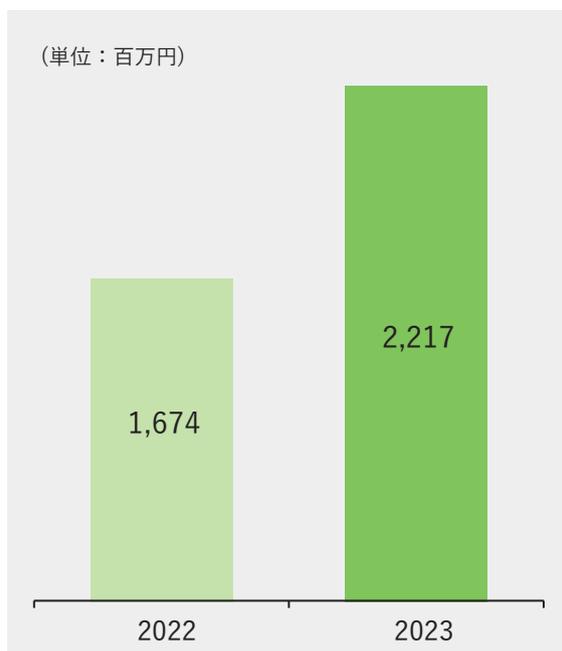
(単位：百万円)

	前 期	当 期	増 減	前期比
売上高	48,478	48,529	+51	+0.1%
売上総利益	12,487	13,265	+778	+6.2%
経 費	10,370	10,801	+431	+4.2%
営業利益	2,116	2,464	+348	+16.4%
経常利益	2,342	2,771	+429	+18.3%
経常利益率	4.8%	5.7%		
当期純利益	1,674	2,217	+543	+32.5%
当期純利益率	3.5%	4.6%		

2023年11月期 当期純利益

当期純利益:2,217百万円 前年同期比:+543百万円(+32.5%)

投資有価証券の売却など特別利益の増加に加え、組織再編による税負担減少により、増加。



(単位：百万円)

	前 期	当 期	増 減	前期比
売上高	48,478	48,529	+51	+0.1%
売上総利益	12,487	13,265	+778	+6.2%
経 費	10,370	10,801	+431	+4.2%
営業利益	2,116	2,464	+348	+ 16.4%
経常利益	2,342	2,771	+429	+18.3%
経常利益率	4.8%	5.7%		
当期純利益	1,674	2,217	+543	+32.5%
当期純利益率	3.5%	4.6%		

2023年11月期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2022 4Q	2023 4Q
資産の部		
流動資産	30,481	31,149 (+668)
固定資産	19,790	20,280 (+490)
資産合計	50,271	51,429 (+1,158)

	2022 4Q	2023 4Q
負債の部		
流動負債	9,309	8,589 (-720)
固定負債	4,278	4,382 (+104)
負債合計	13,587	12,972 (-615)
純資産の部		
株主資本	31,860	32,673 (+813)
その他の 包括利益累計額	4,768	5,760 (+992)
新株予約権	55	23 (-32)
純資産合計	36,684	38,457 (+1,773)
負債純資産合計	50,271	51,429 (+1,158)

自己資本比率 74.7%(2022年4Q 72.9%)

2023年11月期 連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	2022 4Q	2023 4Q
現金及び現金同等物期首残高	11,020	10,396
営業活動によるキャッシュフロー	850	4,399
投資活動によるキャッシュフロー	△135	77
財務活動によるキャッシュフロー	△1,916	△1,983
現金及び現金同等物に係る換算差額	577	119
現金及び現金同等物の増減額	△623	2,613
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	-
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	-
現金及び現金同等物期末残高	10,396	13,009

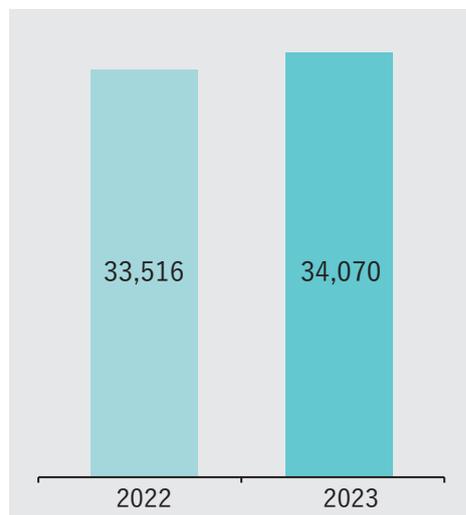
4

2023年11月期 事業の概況

2023年11月期 地域別売上高

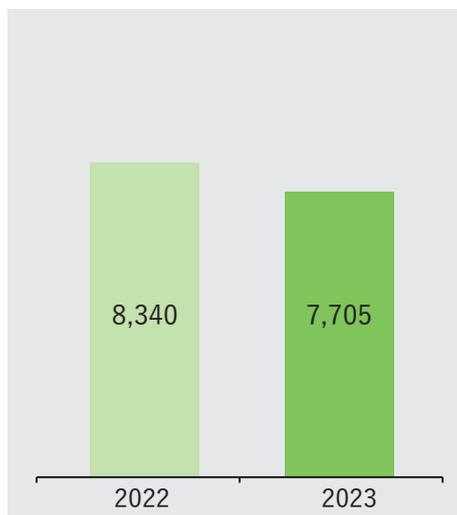
(単位：百万円)

日本



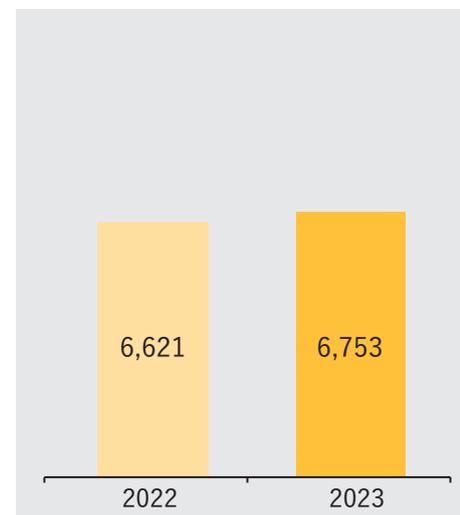
前年同期比 +554百万円
(+1.7%) ↑

アジア



前年同期比 -635百万円
(-7.6%) ↓

欧米



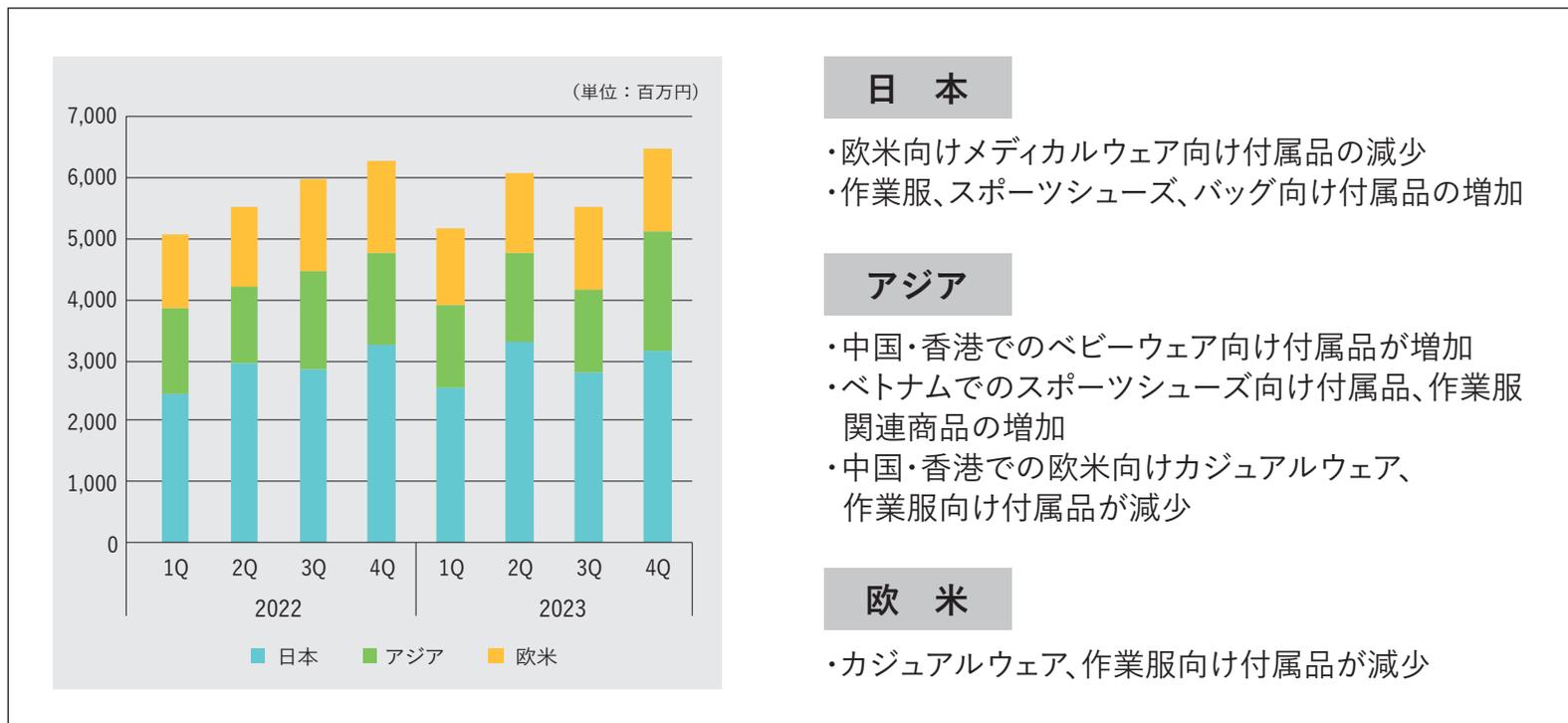
前年同期比 +132百万円
(+2.0%) ↑

2023年11月期 アパレル関連事業売上高

売上高:23,205百万円 前年同期比:+410百万円(+1.8%)

スポーツシューズ向け付属品が好調。

欧米向け商品は、市場における在庫のダブつき・需要停滞の影響があり。さらに暖冬の影響で4Qでの冬物向け販売が鈍化。



2023年11月期 プロダクト関連事業売上高

売上高:17,856百万円 前年同期比:-203百万円(-1.1%)

厨房機器関連サービス事業、医療機器関連商品など、高付加価値商品が好調。

コロナ禍において需要の高まったアクティブスポーツ関連商品は、一巡。



日本

- ・建築現場向け安全関連商品が減少
- ・サーフボード関連商品が減少
- ・医療機器関連商品が増加
- ・均一価格小売店向け商品が増加
- ・厨房機器レンタル・販売・清掃事業が増加

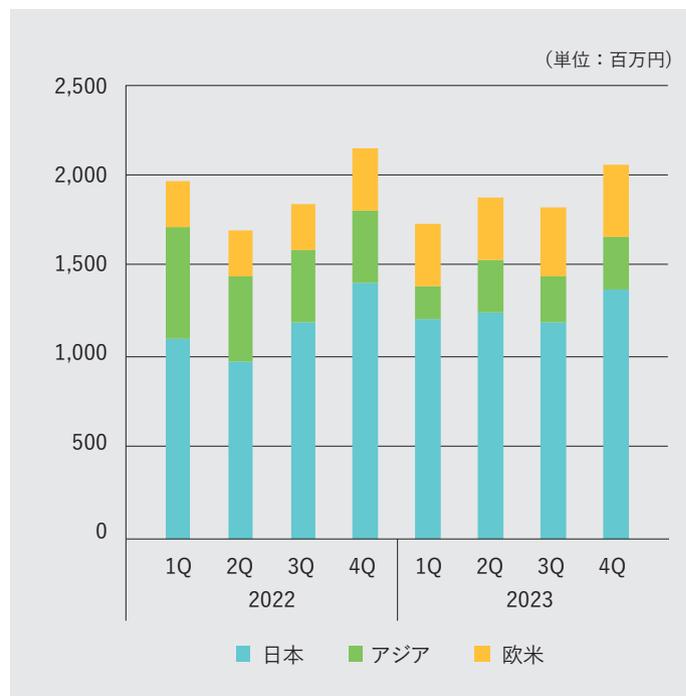
アジア

- ・昨年と同水準

2023年11月期 輸送関連事業売上高

売上高:7,467百万円 前年同期比:-154百万円(-2.0%)

コロナ前の自動車生産台数には及ばないものの、半導体不足の影響は改善が続く。
ただし中国では、不採算ビジネスの撤退により減少。



日本

- ・日系自動車メーカー向け自動車内装部品が増加

アジア

- ・中国での日系自動車メーカー向け自動車内装部品が減少

欧米

- ・日系自動車メーカー向け自動車内装部品が増加

2023年11月期 地域別売上高(四半期別)

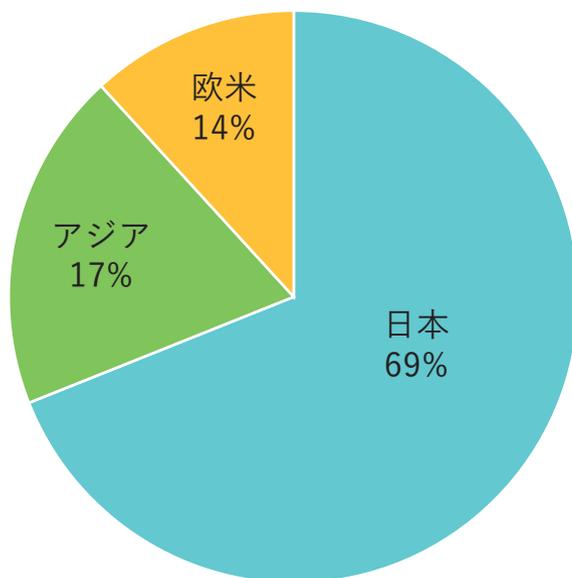
(単位：百万円)

2023年度 実績								
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	構成比	増減額	増減率
日本	8,502	8,826	7,901	8,841	34,070	70.2%	+554	+1.7%
アジア	1,719	1,864	1,739	2,383	7,705	15.9%	-635	-7.6%
欧米	1,582	1,654	1,763	1,754	6,753	13.9%	+132	+2.0%
合計	11,804	12,344	11,403	12,978	48,529	100.0%	+51	+0.1%

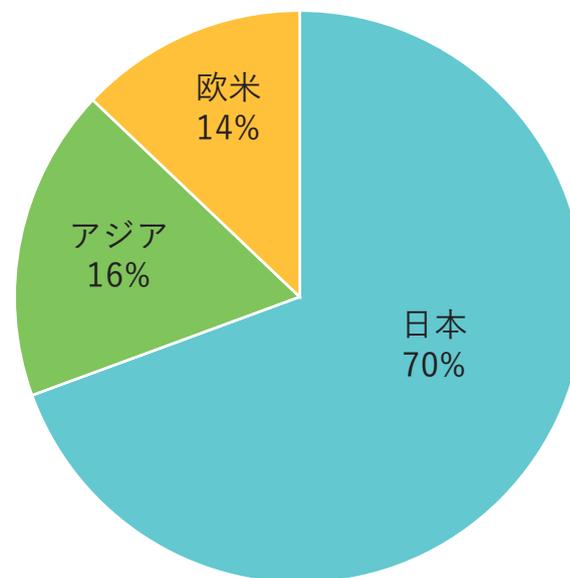
2022年度 実績								
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	構成比	増減額	増減率
日本	7,912	8,196	8,031	9,377	33,516	69.1%	+3,287	+10.9%
アジア	2,212	1,885	2,180	2,063	8,340	17.2%	+286	+3.6%
欧米	1,436	1,564	1,755	1,866	6,621	13.7%	+1,268	+23.7%
合計	11,561	11,646	11,965	13,306	48,478	100.0%	+4,842	+11.1%

2023年11月期 地域別 売上構成

2022年4Q



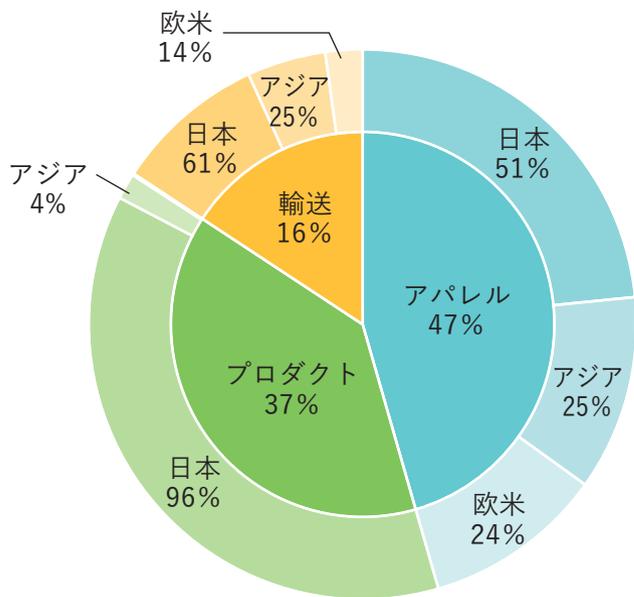
2023年4Q



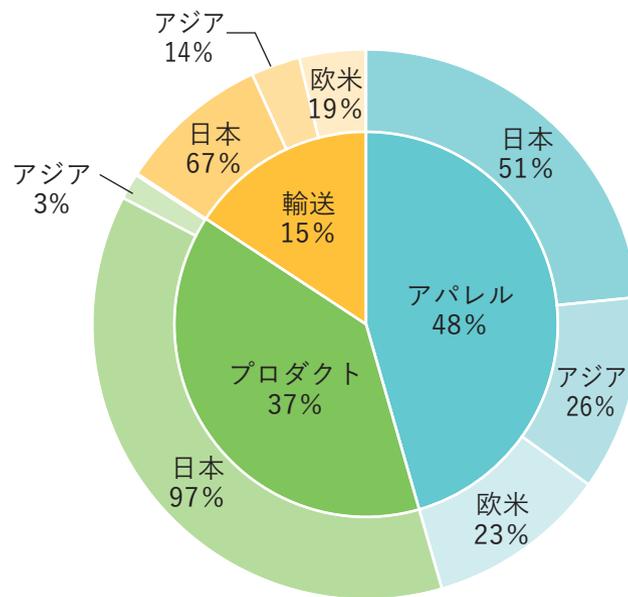
欧米向けのアパレル関連事業・輸送関連事業が中心のアジアが減少。
日本市場が回復。

2023年11月期 地域別×事業別 売上構成

2022年4Q



2023年4Q



輸送関連事業は、
中国の不採算事業撤退により減少。

5

2024年11月期通期業績予想

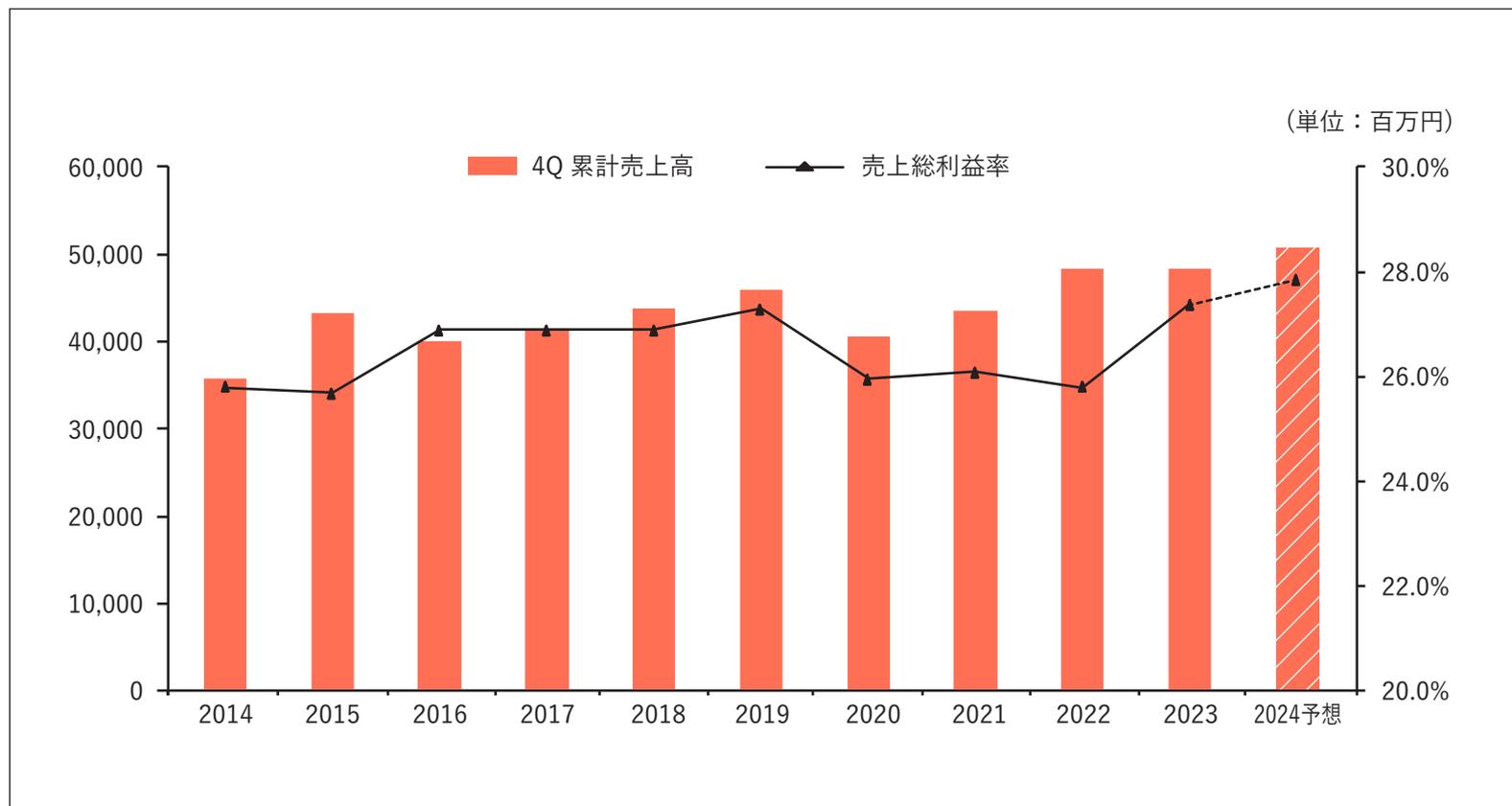
2024年11月期 通期業績予想

(単位：百万円)

	2023年11月期 実績	2024年11月期 業績予想	増 減	前期比
売上高	48,529	51,000	+2,471	+5.1%
営業利益	2,464	2,600	+136	+5.5%
営業利益率	5.1%	5.1%		
経常利益	2,771	2,800	+29	+1.0%
経常利益率	5.7%	5.5%		
当期純利益	2,217	2,300	+83	+3.7%
当期純利益率	4.6%	4.5%		

2024年11月期 売上高・売上総利益率の推移予想

不採算事業の整理に加え、新規顧客の獲得、地産地消・現地調達強化による売上総利益率改善を見込む。



6

事業トピックス

環境への取り組み 「Rideeco® (リデコ)」

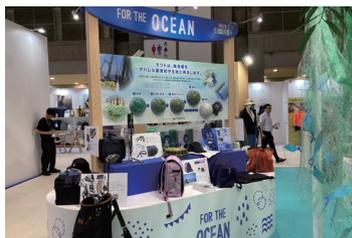
Rideeco® は、モリトグループの環境配慮型の商品開発等の取り組みで、第8次中期経営計画の成長戦略の1つとして注力。2023年度は廃漁網を活用した資材の販路拡大に向けた認知度向上のための取り組み・イベントを多数実施。



海遊館の空き水槽を活用したイベントに商品が採用



SDGsに関する出前授業開始
(京都市立岩倉南小学校)



サステナブルファッションEXPO2023出展



廃漁網回収プロジェクト
(静岡県・千葉県等、拡大中)

環境への取り組み 2023年度実績・開発商品



オリックス・バファローズの
選手が着用した帽子の
アップサイクル



東京ヴェルディ
女子ホッケーチーム
チームジャージ



ドクターエア
～「BLUE LIFE」シリーズ～

奥:3Dネックマッサージャー
プレミアムBLUE LIFE
手前:3Dマッサージピロー BLUE LIFE



レクサスコレクション春夏2023
スマートフォンポシェット



ASUKAMI®

アパレル工場の端切れを活用した混抄紙
(株)ワールドの下げ札等に採用



廃漁網をリサイクルした生地

廃漁網の配合率をアップさせた
廃漁網をリサイクルした生地を開発中

グループ会社紹介 エース工機株式会社（プロダクト関連事業）

飲食店の厨房の排気ダクト入口部に設置される、グリスフィルターのレンタルサービスを展開し、国内トップクラスのシェア。全国にフィルターの交換・配送・洗浄を実施。

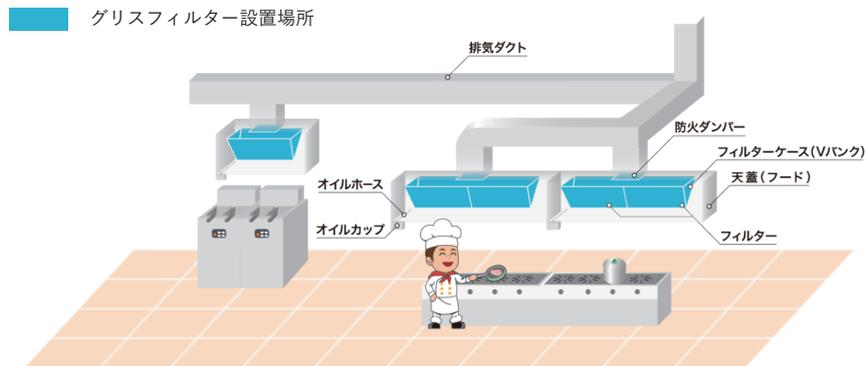
厨房排気設備清掃事業も実施中。施設内での快適環境の実現と、火災リスクの軽減に寄与。

<https://www.ace-kouki.co.jp/index.html>



グリスフィルター

飲食店などの厨房の排気ダクト入口部に設置されるフィルター。ダクトの油汚れを抑え、火災を抑制。



導入店舗数

日本の飲食店の数は約62万店舗*。
まだまだ成長の余地があります！

約 **18,000** 店舗

*「総務省 平成26年度 経済センサス 基礎調査」調べ

所有枚数

すべてのフィルターを平積みすると
約3,400m以上 富士山8合目付近です。
縦積みすると約48.5km以上
成層圏付近です。

約 **137,000** 枚

洗浄枚数/月

一日で4,500枚以上のフィルターを
きれいに洗浄しています。

約 **101,000** 枚

グループ会社紹介 エース工機株式会社（プロダクト関連事業）

最先端の洗浄設備を備えた洗浄工場を各拠点に完備。工場排水の汚染物質を効率よく除去し、環境保全に貢献。2024年度に九州サービスセンターの設備強化予定。北海道エリアの拡大に向け、2025年に新サービスセンターが稼働、2026年までに更なる自社工場への設備投資等を実施予定。

▶詳細は第8次中期経営計画のアップデートをご覧ください



自社工場設備

自動制御のクレーンにより、フィルター洗浄・乾燥を自動化

環境に配慮された施設です

エース工機は「洗浄工場の省エネ」・
「フィルターの洗浄水の再利用」・
「廃水の適正処理」を通じてSDGsの
目標達成に貢献します。

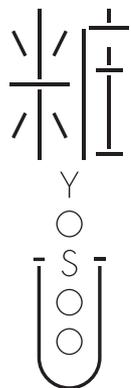
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



BtoCブランド YOSOUU® (アパレル関連事業)

洗練されたデザインでありながら、ストレッチ素材Dual Flex®を採用し、スタイリッシュな着こなしが魅力のダウンウェアブランド。自宅での洗濯可、静電気防止加工など機能面も充実したラインナップ。2023年10月にオンラインショップをオープンし、百貨店等でPOPUPも開催。

▶YOSOUU公式オンラインショップはこちら



(参考)メディア掲載情報

- Kiss FM KOBE Wave!!!!でオリックス・バファローズとの取り組み紹介・グループ社員出演

<https://x.com/kissfmwave/status/1716677941315436630?s=46&t=7d2cBCnDhwx9FI7FLZelrg>

- Yahoo! ニュース等にSDGs出前授業の取り組みが記事掲載

<https://ovo.kyodo.co.jp/news/life/a-1912230>

- ライブドアニュースにRideeco®の取り組みが掲載

<https://x.com/livedoornews/status/1727261730164858884?s=12&t=7d2cBCnDhwx9FI7FLZelrg>

7

株主還元策

利益配分に関する基本方針

株主に対する利益還元を経営上の重要課題のひとつと位置付け、投資案件および財務状況（純資産等）を勘案の上、下記の方針に基づき、配当額を決定。

安定的かつ継続的
配当の実現

親会社株主に帰属する
当期純利益に対する

配当性向は
50%以上を
基準

連結自己資本配当率

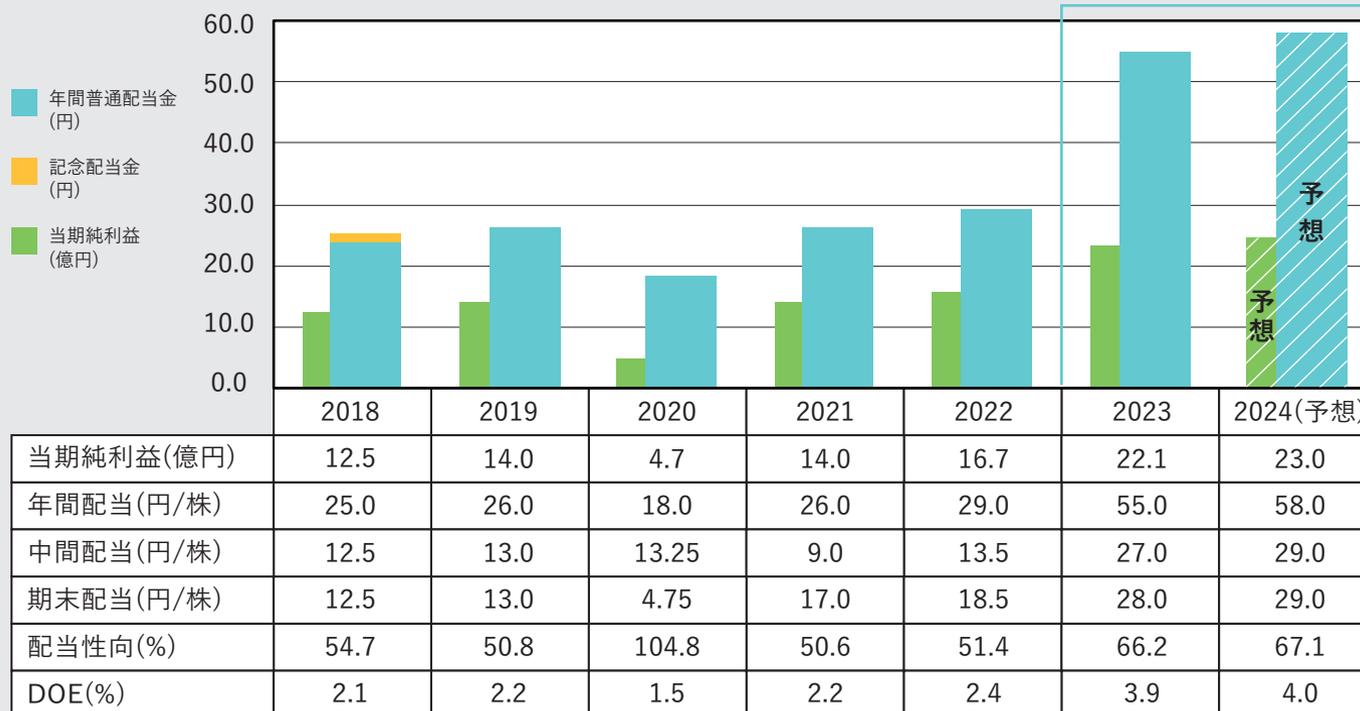
DOE 4.0%
基準

機動的な自己株式取得および適切な消却の実施を引き続き検討

※ ただし、特別な損益等の特殊要因により税引後の親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する事業年度についてはその影響を考慮し配当額を決定します。

配当金・配当性向・DOEの推移

2023年度より、利益配分に関する基本方針を変更



本資料のお取扱いについて

本資料は、当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。

本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ先

モリト株式会社 社長室

〒541-0054 大阪市中央区南本町 4-2-4

E-mail : ir@morito.co.jp

MORITO

あたりまえに、新しさ。